

図書館だより



京都市立九条中学校

図書館

令和6年度 2月号

新しい本が届きました！

図書館に新しい本がたくさん並んでいます。本館3階に向かう踊り場や職員室前にも紹介をしていますので、ぜひ参考にしてください。（職員室前の本も貸出が可能です。）

新着本の中の注目作をいくつか紹介します。



けんご 「けんごの小説紹介」 KADOKAWA

この本は図書館を訪れた3年生の男子が教えてくれたものです。「この本を読んでおすすめの小説を読むようになりました。」と聞き、その場ですぐに検索して今回購入したという経緯があります。選書に一役買ってくれました！ありがとう！

筆者は『小説紹介クリエーター』。SNSで小説の紹介動画を配信し、90万人以上のフォロワーがいるそうです。最近の作品だけでなく、不朽の名作といわれるもの（1年生の国語で学習する「少年の日の思い出」）も紹介されています。

岡嶋かな多 「夢の叶え方は一つじゃない」 私は、中卒作詞作曲家

PHP研究所

著者は作詞作曲家、音楽プロデューサー。BTS、TWICE、NiziUをはじめ、500曲以上の作品を世に送り出しています。中卒で音楽業界に飛び込んで、挑戦と挫折を繰り返していたそうです。「みんなにとっての『当たり前』な生き方が、実はあなたにとっての正解とは限らない。だって、あなたの人生はみんなのためではなく、あなたのためのものだから。夢だって同じ。あなた流に

夢を叶えていいんです。」という言葉に勇気がわきます。



ください。自分だけのコンパス（指針）を持ってください。」とあります。文中の言葉や出来事について、易きに流されずじっくりと考えてみてほしい作品です。

黒川裕子 「#マイネーム」 さ・え・ら書房

主人公は13歳の美音。両親の事情で名前が変わったところから物語は始まります。

ぜひ、あとがきまで読んでみましょう。「…沈まない知識の舟を造つ



新聞を読もう！

クラスには毎日「京都新聞」が届き、図書館や廊下には「中高生新聞」が設置されています。少しでも活字に親しんでほしい、新聞を手に取って読んでほしいという願いがあるからです。みなさんはどのくらい読んでいるのでしょうか、気になるところです。さて、この画像は図書館入口の横に掲示した「新聞記事の切り抜き」です。

「震災と復興」にテーマをしづらせて記事を集めてみました。

それは、いつもお世話になっている「京都新聞」の販売店様が、学校が休業となっている年末年始の分をまとめてわざわざ届けてくださったのがきっかけです。お忙しい中でのご厚意が本当にありがたいと感じ入り、わずかでもお応えしたいと思いこのように活用してみました。ぜひ、間近で読んでみてください。

ネットニュースや新聞のデジタル版なども便利ですが、紙の新聞ならではの良さがたくさんあります。その一部をまとめて（以下のものを）図書館に掲示しています。一覧性に優れた新聞を毎日読みたいものです。



幅広い分野の情報が掲載されています。

全体の内容がわかるように工夫されています。



- ・社会で起きている物事や、その流れを把握できます。
- ・社会への関心を高め、自分事として考えを深めることにつながります。
- ・見出しだけをチェックしたり、気になる記事はじっくり読んだり、切り抜いてスクラップしたり…必要に応じた活用ができます。

本の貸出＆返却について



返却日を過ぎている人がいます。

できるだけ早く図書館に本を返却しましょう！

今年度分の貸出最終日は以下の通りです。

1.2年生→3月5日（水）

3年生→ 2月28日（金）

本を必ず返却して、卒業や進級をしましょう！